

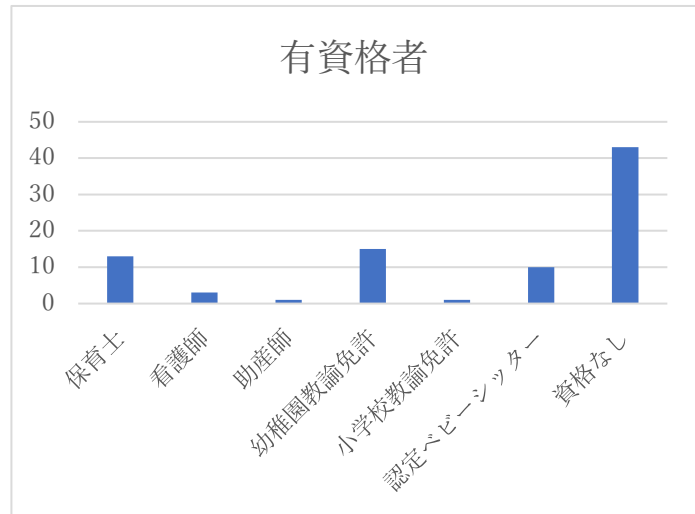


ベビーシッター 以外の事業	家事シッター 居宅訪問型保育事業 認可保育所 (板橋区1園) 東京都認証保育所(練馬区1園) 給食業務(他保育所の給食受託)
------------------	--

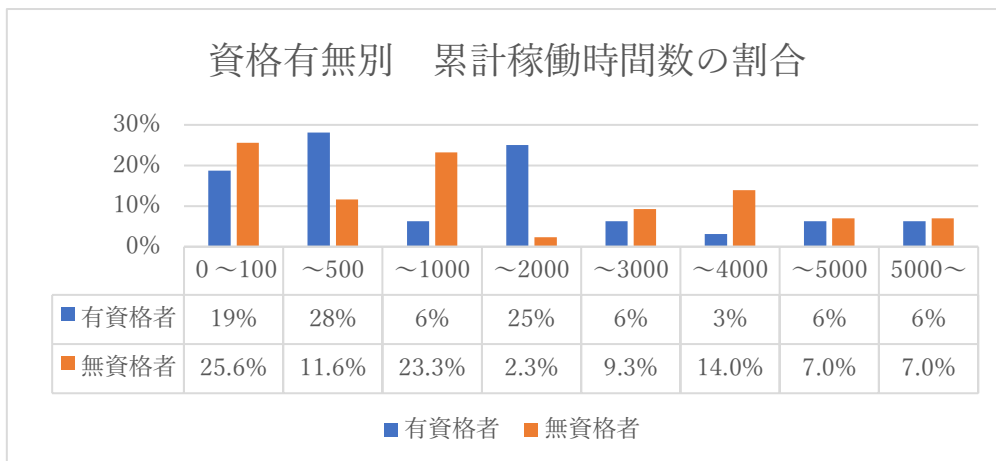
＜ベビーシッターの保有する資格の状況＞ ※2018年2月14日現在(人数は延べ人数)

資格	保育士	看護師	助産師	幼稚園 教諭	小学校 教諭	認定ベビー シッター	なし	合計
人数	13	3	1	15	1	10	43	86

サンフラワーA が創業した平成 5 年当初、保育士資格を有さずに保育の仕事に就くには、保育園で保育補助として働くか、ベビーシッターとして働くか、という選択肢に限られていました。そのため「資格はないけれども保育の世界で働きたい」という方が多くお集まりいただきました。現在においてもそういった背景は継続されており、資格を保有していないシッターが資格者よりも多いという結果に繋がっています。



資格有無別の累計稼働時間数の割合を比較すると、累計稼働時間が多くなるほど無資格者の割合が増えています。このことは利用者との関係が良好である証左となりうるもので、ベビーシッターにおいては、利用者との信頼関係が第一であると考えております。また資格一覧のうち認定ベビーシッターを有する者は、無資格で登録後、実務経験を積みながら後述する2つの研修を受講、筆記試験に合格し認定資格者となりました。日々研鑽を重ね、より質の高い保育を提供したいという想いがカタチになったものと捉えております。



< 研修受講状況 > 外部研修

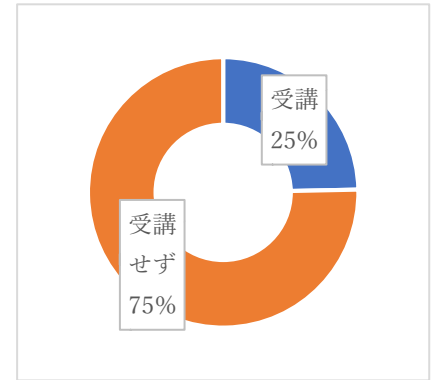
認可外保育従事者に対する研修

名称	実施機関	内容
認可外施設 職員テーマ別研修	東京都	小児保健、安全管理、子どもの発達、子どもの遊びなど

●2018年度受講者数6名、累積受講者数75名

(2016年度～2018年度、計5回)

認可外施設職員テーマ別研修の集計結果は、延べ人数で集計しています。受講希望者が多いため、申込み後実施機関で調整のち受講が決定するため、必ずしも参加できるとは限りません。しかし、各シッターが興味のあるテーマや必要と感じるテーマに申込みが可能で、1つのテーマにつき半日程度で受講できるため、勤務との調整もしやすいことがポイントとして挙げられます。

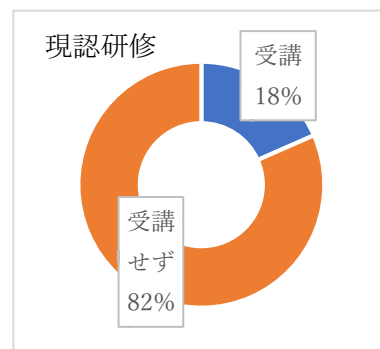
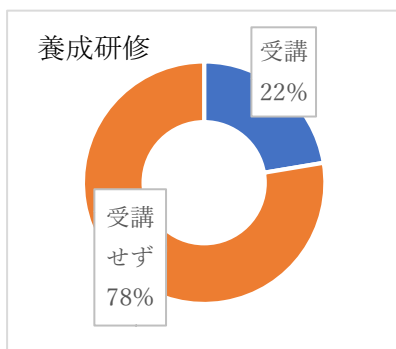


ベビーシッターに対する研修

名称	実施機関	内容
ベビーシッター 養成研修	全国保育サービス協会	家庭訪問保育の概要、保育マインド、一般型家庭訪問保育の業務の流れ、さまざまな家庭訪問保育、乳幼児の生活と遊び、乳幼児の発達、事故安全、小児保健、子ども虐待、保育技術、ディスカッション
ベビーシッター 現任研修	全国保育サービス協会	保育制度における家庭訪問保育の動向、家庭訪問保育の保育内容、家庭訪問保育者の氏名と役割、家庭訪問保育における環境整備、保育技術、小児保健、子どもの発達、保護者への支援、心配蘇生法、ディスカッション

●2018年度受講者数2名、累積受講者数17名

●2018年度受講者数2名、累積受講者数14名



認定ベビーシッター資格を受験するための要件ともなっている研修です。養成研修受講者のみ現任研修が受講できる仕組みとなっているため、養成研修修了者の方が多くなる傾向があります。

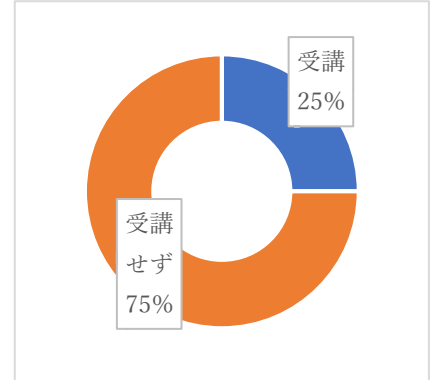
両研修ともに連続した3日間の参加が必須となるため、勤務との調整が難しく受講を断念せざるを得ないシッターが多い現状です。

ベビーシッターに関する研修

名称	実施機関	内容
ベビーシッター 専門研修	全国保育サービス協会	病児・病後児保育、家庭訪問保育におけるリスクマネジメントなど

- 2018年度受講者数2名、累積受講者数19名  
(2016年度～2018年度、計3回)

ベビーシッター業務にかかわる内容だけでなく、シッター自身のメンタルヘルスについての内容など幅広いテーマで開催される研修です。

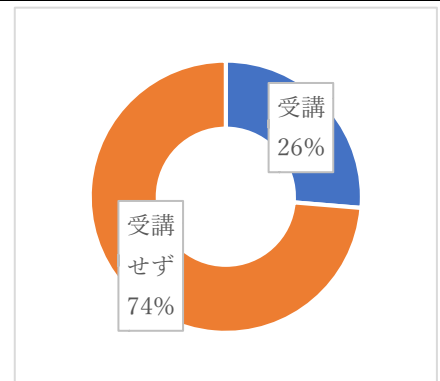


居宅訪問型保育、ベビーシッター利用支援事業(東京都)従事者に対する研修

名称	実施機関	内容
居宅訪問型保育 基礎研修	東京都(全国保育サービス協会)	居宅訪問型保育の概要、乳幼児の生活と遊び乳幼児の発達と心理、乳幼児の食事と栄養、小児保健、心肺蘇生法、居宅訪問型保育の保育内容、居宅訪問型保育における環境整備、居宅訪問型保育の運営、安全の確保とリスクマネジメント、居宅訪問型保育者の職業倫理と配慮事項居宅訪問型保育における保護者への対応、子ども虐待、特別に配慮を要する子どもへの対応(0～2歳児)、実践演習

- 2018年度受講者数14名、累積受講者数20名

居宅訪問型保育事業、ベビーシッター利用支援事業の従事要件となっている研修です。1回につき5日間で開催されますが科目ごとの受講ができ、勤務と調整しながら修了することが可能となります。また養成研修や現任研修と同じテキストを用いていて、内容も重複しているものが多いため、弊社では基礎研修の受講者が増加傾向にあります。



< 自社研修の内容 >

受講費用無料。研修時間分の給与(995円)と交通費(実費)を支給。

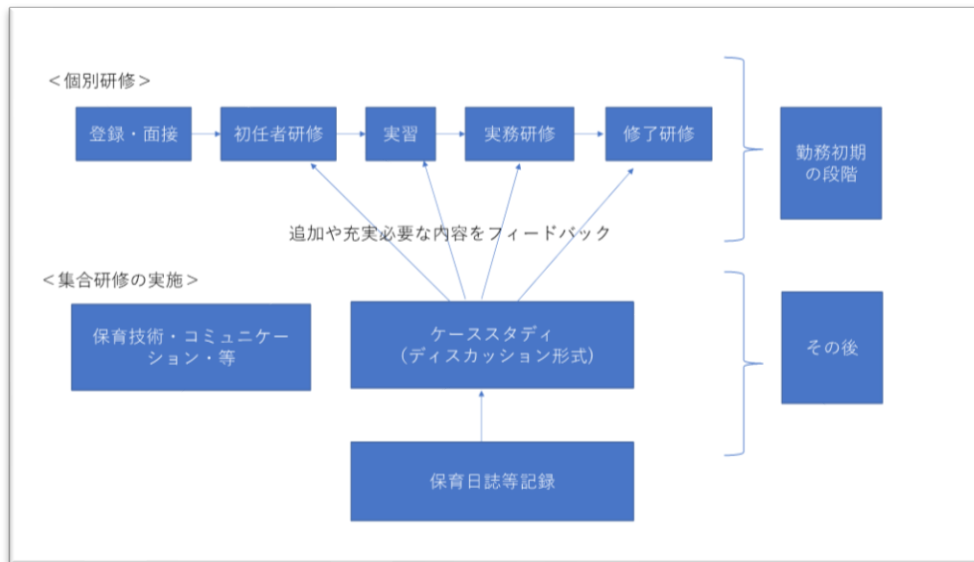
(1) 採用時及び業務従事前

	名称	内容
1	初任者研修 (2時間)	ベビーシッター業務の概要、自社及び自社のベビーシッター業務の概要、保育実習の概要、質疑応答
2	実務研修 (3時間)	初任者研修の振り返り、サービス提供の心構え・フロー・個々の業務の手順・ケーススタディ、割引券の取扱方法、安全な保育に関する知識、質疑応答
3	同行研修 (OJT)	前日確認、保育の引継ぎ、子どもとの関わり方(遊び、寝かしつけ、食事・ミルク、排泄、安全管理)、終了報告 同行シッターからのフィードバック(実習終了後)

(2) 採用後

名称	内容
シッター研修会	ベビーシッター業務に関する講義・情報伝達、事例共有、ディスカッション
修了研修	初任者研修・実務研修の振り返り、顧客から見たベビーシッターサービス、質疑応答

研修の流れと PDCA 図

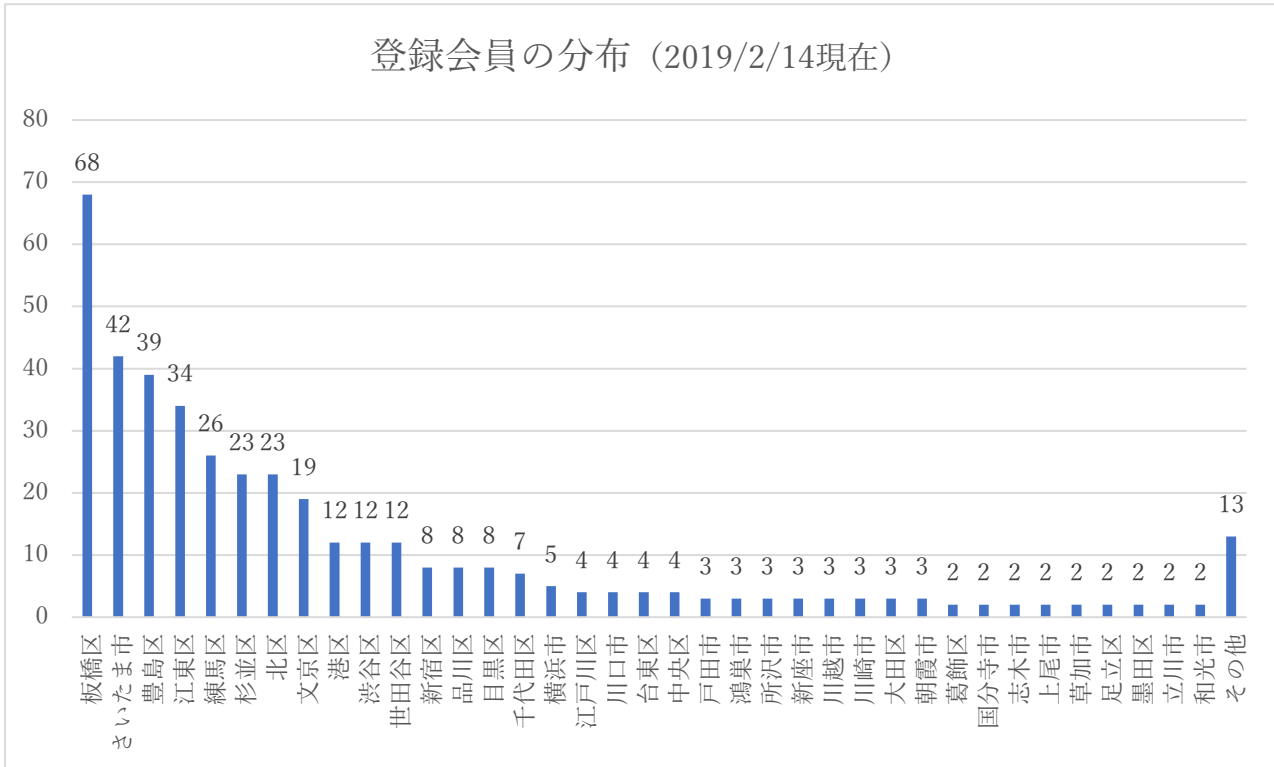


集合研修で獲られた知見は、各研修へフィードバックされることでより研修のレベルアップを図ります。またケーススタディは日々の記録からピックアップすることでより実践的な研修とすることができます。家庭内で行われる保育の特徴として保育専門の環境設定が難しいこともあり、他のシッターの経験をケーススタディとして追体験することで自身の保育の引き出しを増やすことにつながると考えております。このほかシッター向けに通信を発行しており(郵送)、情報共有や注意喚起の機会としています。

< 情報開示・記録 >

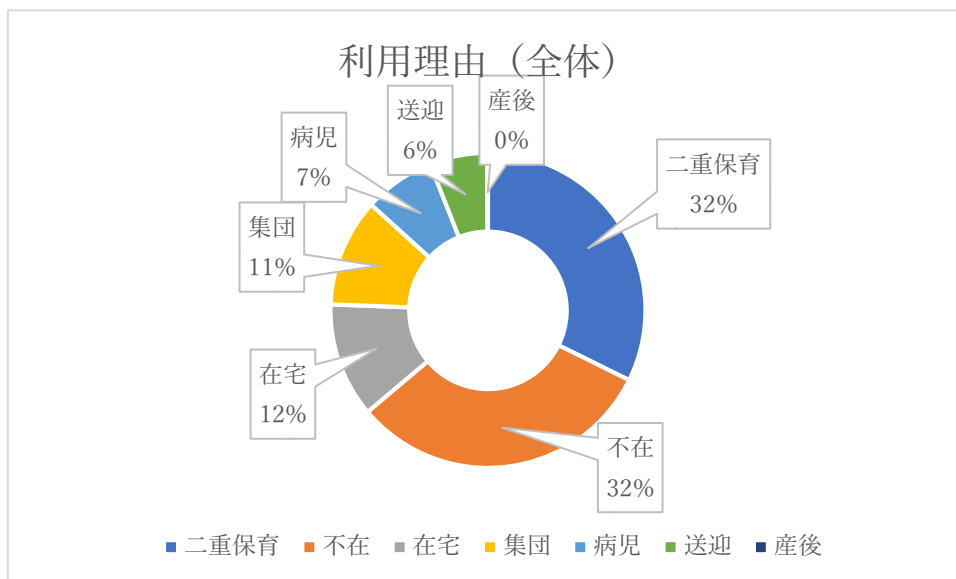
● 保護者の利用実態

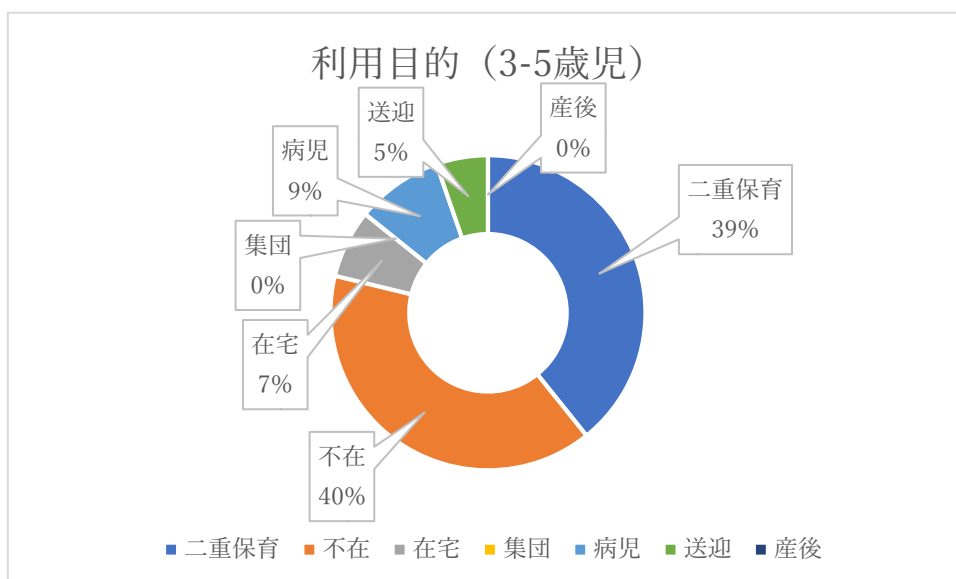
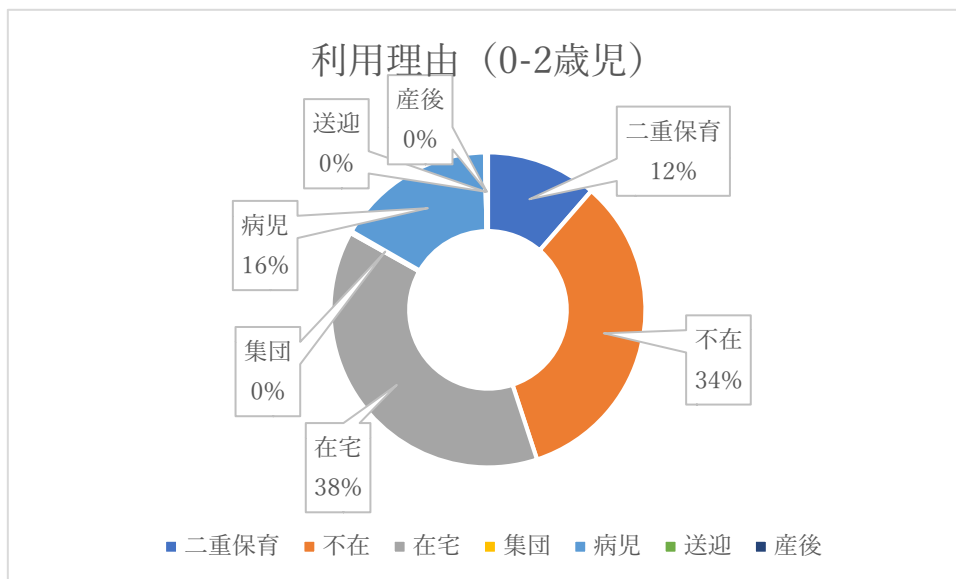
[登録家庭の分布]



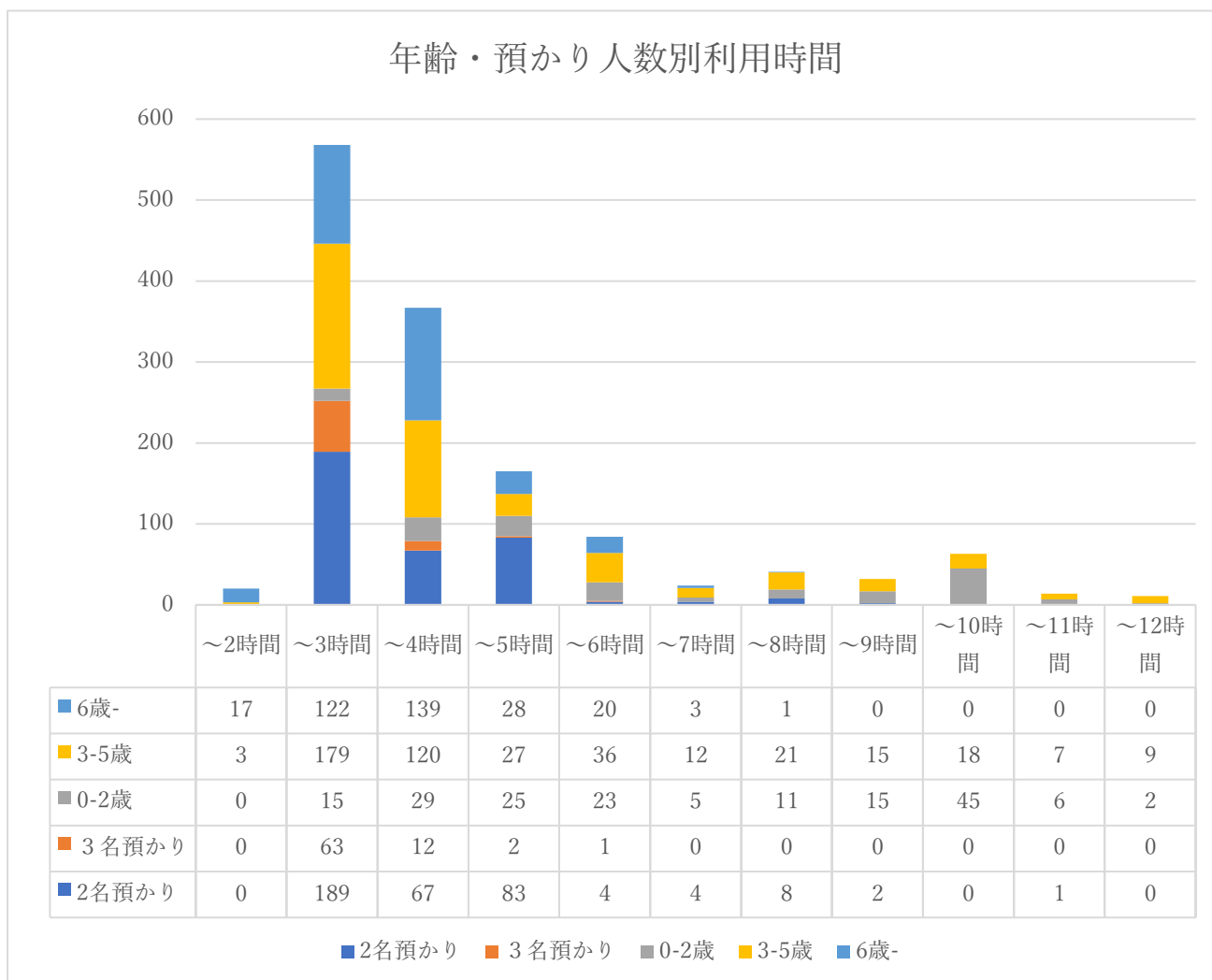
[利用理由]

もっとも多いのは、二重保育と保護者不在(理由不明)による利用です、二重保育を要望される家庭は定期的に利用されるケースがほとんどで、定期利用家庭の平均利用頻度と時間は週2回 2時間 38 分となっています。

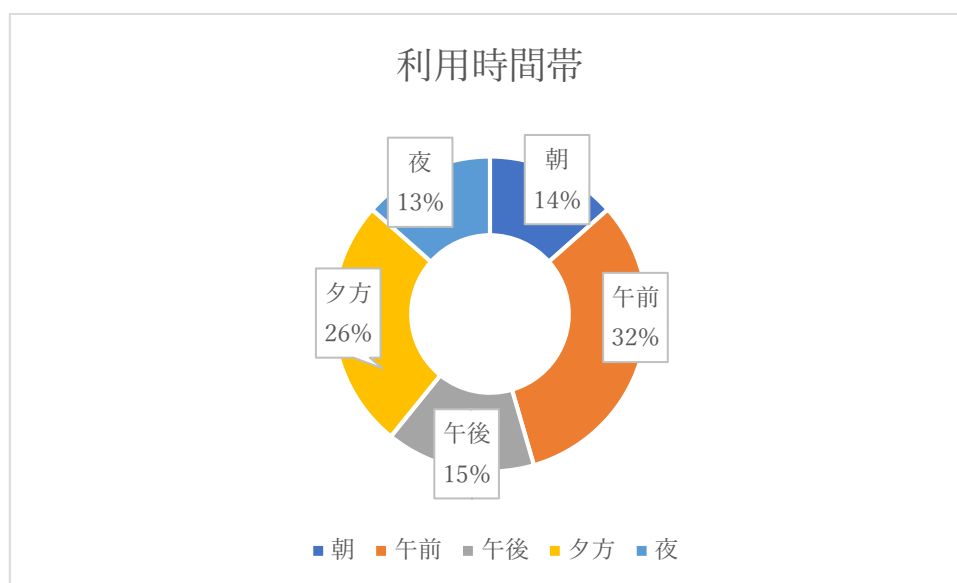




[利用時間]



[利用時間帯]

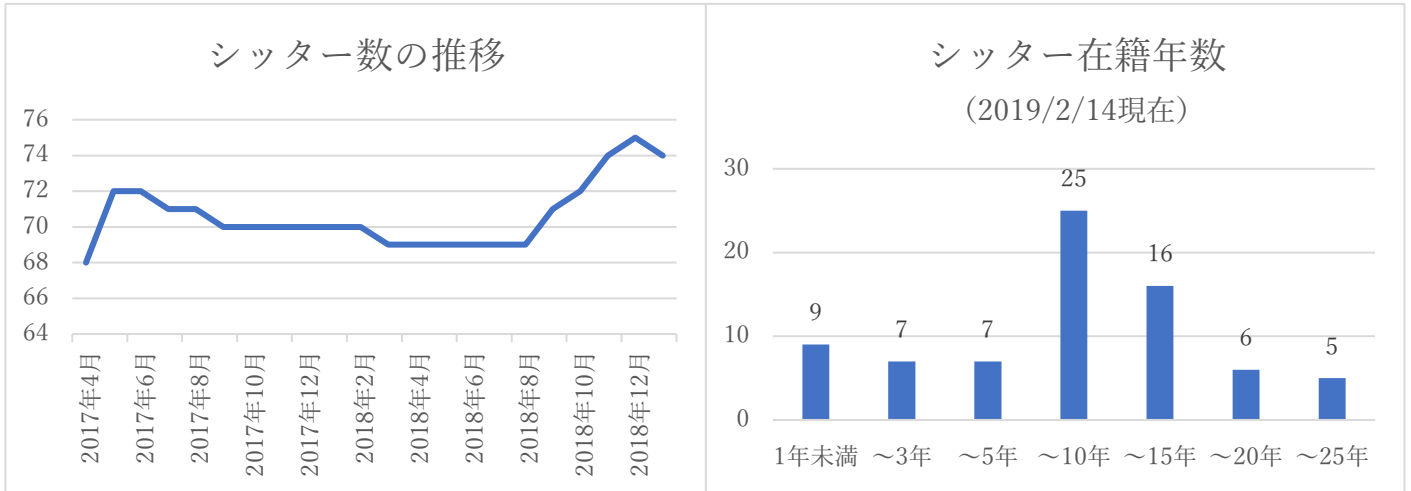




●登録シッターについて

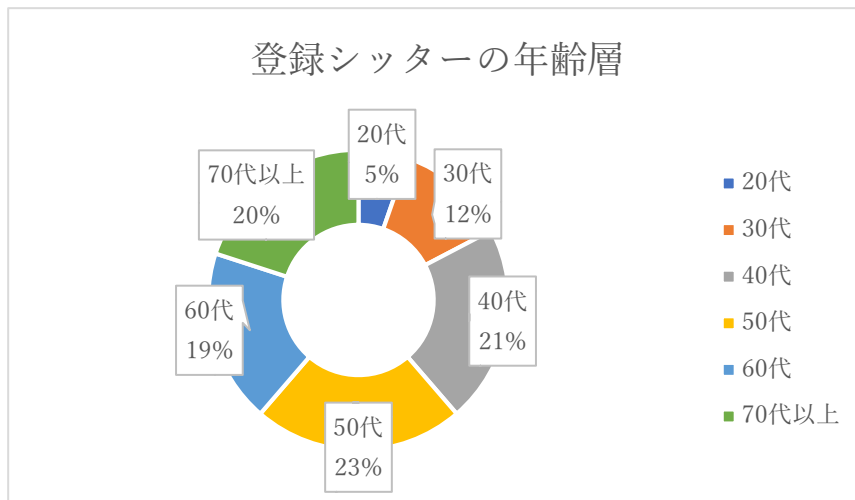
[雇用シッター数] 登録人数:75名 稼働率:66.7% (2019/2/14現在)

登録人数は過去10年間で約30%減。2017年4月以降では、68名～75名の間で推移。2018年8月以降は微増傾向。



[年齢層・男女比]

20才～80才が在籍。男性0名、すべて女性。




[1日当たり平均的な活動時間]

3.9時間(2017/2～2018/1、16882.8時間÷4306日)

●日々の保育録

ひまわりレポート…ご予約内容・お子様の様子を記入、月内は各シッターが保管し、月末にまとめて本社へ提出します。



サンフラワー・A株式会社  
TEL 03-5394-8400 / FAX 03-5994-3284

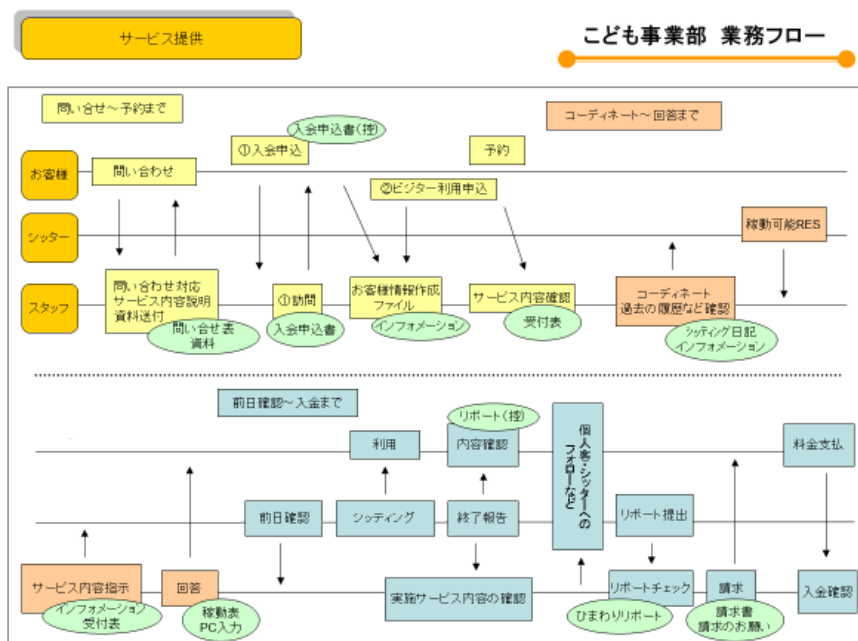
## ひまわりレポート

お客様	シッター	サンフラワー

年 月 日 ( 曜日 )		予約時間	～					
保護者様名		様	当日延長	～				
お子様名		様	交通費 往復	円 ( )				
【本日の様子・連絡事項など】			食事請求	食 割引券 有 ____ 枚 ・ 無				
			【ベビーシッターサービス】 沐浴 調乳 授乳 見守り 食事等介助 送迎 戸外遊び 室内遊び お風呂・シャワー その他 ( )					
			【家事シッターサービス】 調理 下ごしらえ 食事セッティング 食後片付け 掃除 (居間・台所・廊下・玄関・トイレ・浴室) 洗濯 洗濯物 (干し・たたみ・アイロン・片付け) その他 ( )					
睡眠	時間	食事 or ミルク	時間	量	備考			
	～		～					
排泄	時間	状態 (小・大 (硬・普・柔・下痢))			時間	人数	サービス	形態
	～				～	名	BS・産後・家事	会員・ピジター
	～				～	名	BS・産後・家事	会員・ピジター

終了報告…シッターが業務終了後、レポートの内容をTELまたはメールでコーディネーターへ報告します。そのうち共有が必要な内容のみ、他のシッターへコーディネーターから伝達します

●保護者への説明



< 事故発生状況・緊急時対応方法 >

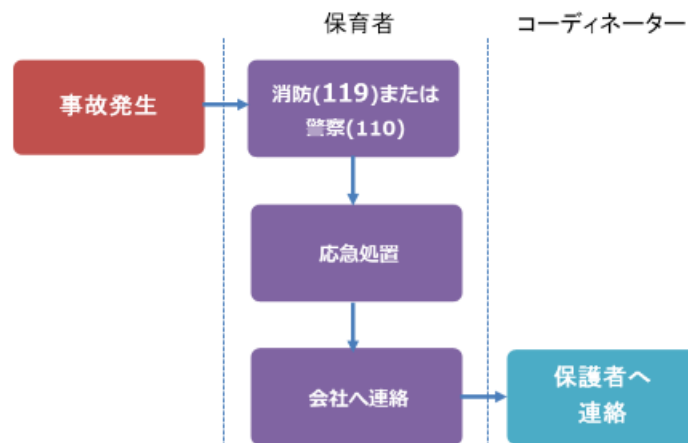
(1) 死亡事故件数 0 件

(2) 治療に要する期間が30日以上を負傷や疾病を伴う重篤な事故等の件数 0 件

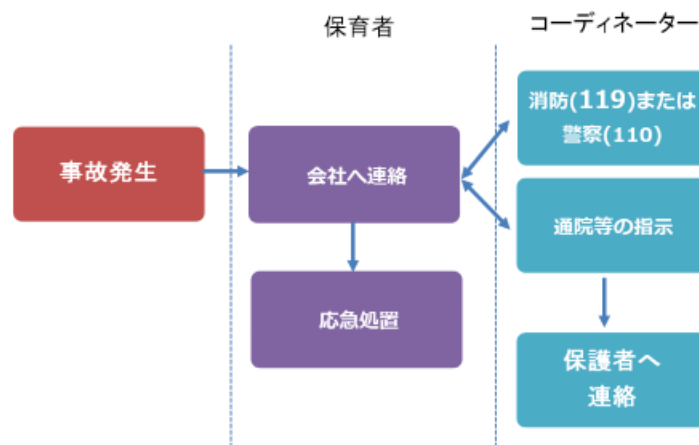
(3) 事故件数 6 件(集計期間:2018/4/1~2019/3/31)

発生日時	区分	内容	月齢
2018/4/23	外傷	お子様が階段を降りる際に足を踏み外しておでこにこぶができた。	2歳
2018/5/29	物損	お子様が家具に油性ペンで落書きをした。	2歳
2018/6/22	物損	シッターが目を離したすきにお子様がお食器を床に落として割った。	7歳
2018/7/3	物損	お子様が蹴った壁掛けの鏡が落下し、幅木が破損した。	3歳
2018/8/21	物損	シッターがお子様の衣類を移動中に紛失した。	6歳
2019/2/26	物損	自転車に乗っていた人と接触してお子様転倒し、着衣が破れた。	3歳

[呼吸・意識・反応がない場合]



[上記に該当しない場合]



- コーディネーターが365日24時間緊急対応の体制を整備。
- 入会時に緊急連絡先(保護者・保護者以外)、緊急避難先の情報を入手。
- 完全非公開型クラウドシステムを使用し、365日24時間情報の閲覧が可能。

<都道府県、市町村との関係(毎年の監査)>

提出書類	時期
認可外保育施設設置届	開設時
地域児童福祉事業等調査 (認可外保育施設調査票)	年1回(3月)
運営状況報告書	年1回(10月)
認可外施設職員テーマ別研修(案内)	都度

<新たな基準に関する意見要望等>

長年明確な基準のなかったベビーシッター業界にあって、居宅訪問型保育事業という認可事業が誕生したことは、画期的な出来事でした。一方認可事業ができたことで、認可事業者と認可外事業者に分類され、戸惑った事業者も多くありました。居宅訪問型保育事業は、地域型保育事業であるため、法人の所在する地域において居宅訪問型保育事業が行われなければ、認可事業者となることができなかったためです。

今回、認可外ベビーシッターの基準づくりが進むことは、このような事業者にとって、一定の制度的信頼を付すことができるものになるのではないかと期待しております。

しかしベビーシッターという業務は、個人がサービスを提供するため、施設保育のように建物の状況、配置人数、資格者人数等といった外形的な基準を設けにくい特性があります。

認可外ではありませんが、ベビーシッターと類似した業務に在宅介護があります。介護者の要件として求められる「介護職員初任者研修」は、130時間(座学40時間、実技90時間)の研修と修了試験への合格と規定されています。

このことから、認可外のベビーシッターについても一定程度の研修受講、実務経験等の要件が必要なのではないかと感じています。